

## (4) 温泉ブロック (松山市、東温市)

### ～産地づくり～

今後も中晩柑のトップブランド産地として維持・発展を図るため、県オリジナル品種と既存の主力品種の産地拡大を推進し、「果樹産地の体質強化」と「儲かるかんきつ経営」の実現を目指します。また、県オリジナル品種の導入が進む野菜・花き、新たな産地化が期待されるアジア野菜など、生産者の所得確保・向上につながる戦略品目の推進により、地域の特色を活かした産地振興に取り組みます。

西日本豪雨災害からの復興・復旧を目指し、早期成園化や基盤整備と連動した営農計画の支援により、被災前よりパワーアップした魅力あふれる産地づくりに取り組みます。

### ～推進品目や産地づくりの方向～

#### ○新たな中晩柑類のトップブランド産地づくり

##### 1 愛媛果試第28号 (紅まどんな)

###### 【取組】

- ・「紅まどんな」の規格に合う高品質果実を生産するため、早期摘果やかん水など栽培管理の徹底を推進

###### 【成果】

- ・紅まどんなの割合：76% (前年77%)  
(「愛媛果試第28号」のうち、糖度10.5以上、酸度1.2%未満のもの)

##### 2 甘平

###### 【取組】

- ①連年安定生産を目指し、土壤水分計を用いたかん水管理等の実証ほをJAと共同で17か所設置
- ②実証結果等を魅力ある中晩柑産地づくり会議で報告、共有

###### 【成果】

- ①裂果軽減の実証を通して、7戸の農家が土壤水分計を導入
- ②「栽培改善事例集(中予版)」を作成、生産者やJAなど関係機関へ配布し、技術を波及

##### 3 愛媛果試第48号 (紅プリンセス)

###### 【取組】

- ・越年品種であるため、温暖な無霜園地での導入を推進

###### 【成果】

- ・栽培面積:22ha (前年:12ha)

##### 4 品種共通 (高品質安定生産技術の確立)

###### 【取組】

- ・マニュアル(「伊予柑を中心とした超省力化技術」)の活用や傾斜かんきつ園での農業用追従ロボットの現地実演等を通じて、超省力化技術の普及を推進

###### 【成果】

- ・農業用ドローンのハウス遮光剤散布作業時間削減、高所作業回避を実証
- ・農業用追従ロボットは島しょ部での実用化を検討。青年定例会で実証結果報告し意見交換

##### 5 災害復興・樹園地整備

###### 【取組】

- ・各樹園地再編整備地区で、各機関実務担当者で組織するワーキングチームにおいて営農計画推進や土づくりの重点指導、早期成園化等を支援

###### 【成果】

- ・下難波地区：営農施設整備計画の着実な推進  
堆肥など有機質資材の施用(対象園地100%)
- ・浅海原地区：品種選定、耕作予定図作成 等



土壤水分計設置研修会



省力化を図る農業用ドローンの活用実証(ハウス遮光剤散布)



運搬等の作業省力化を図る農業用追従ロボットの検討



整備樹園地での土壌調査

## ○「はだか麦」と「水稲」の高品質生産の推進

### 1 はだか麦

#### 【取組】

- ・関係機関や生産者に対し、生育予測情報などを提供するとともに、講習会を通じて適期作業の励行等を推進

#### 【成果】

- ・R4産はだか麦の栽培面積 258ha (昨年 346ha)  
収穫量 643t (昨年1,273t)

### 2 水稲

#### 【取組】

- ①県オリジナル品種「ひめの凜」の普及のほか、生育予測情報などを提供し、各作型における適期作業の励行を推進
- ②スマート農業推進の一環として水田の水管理の自動化を検討し、試験的に水位センサーと自動開閉式給水栓を設置

#### 【成果】

- ①「ひめの凜」の栽培戸数： 36戸 (昨年23戸)  
栽培面積：2,216a (昨年1,899a)
- ②自動化に必要な水位センサーについては、スマートフォンでの確認が容易で、労力の削減に効果 (約2割)。



水田用水位センサー



新規小麦：シロガネコムギ

## ○地域特産野菜・花きの生産推進と農家所得の向上

### 1 なす

#### 【取組】

- ・天敵利用実証ほ場を設置し、天敵の導入方法や定着状況を情報提供するとともに、新規就農者を対象に講習会を実施

#### 【成果】

- ・天敵導入者：18人(前年9人)
- ・天敵利用により、農薬散布回数約6割削減 (施設)
- ・新規栽培者4人を確保

### 2 さといも

#### 【取組】

- ・収益性の高いさといも「愛媛農試V2号(伊予美人)」の産地化に向け、個別巡回や各種会合等でのPR活動などによる新規栽培者の掘り起こしや、栽培技術向上のため栽培講習会を開催

#### 【成果】

- ・新規栽培者：11人確保(前年28人)
- ・栽培面積：7.3ha (前年比208%)

### 3 いちご

#### 【取組】

- ・高度な専門知識や技術を短期間に習得するため、天敵利用、炭酸ガス日中施用を推進するとともに、若手モデル農家5人による環境制御技術勉強会「だんだんの会」を結成(6回開催)

#### 【成果】

- ・天敵利用農家：27戸、炭酸ガス日中施用農家：20戸
- ・勉強会を通じて、ハウス内環境が改善

### 4 パクチー

#### 【取組】

- ①軽量で高単価が期待できるパクチーの産地化に向けて、実証ほ場を設置し、周年生産技術を確立
- ②主な出荷先の関西圏等で実需創出に向けたPR活動を実施 (関西4店舗(11月)、都内1企業(8月、3月))

#### 【成果】

- ①夏秋期の播種日による栽培日数を確認
  - ・夏季の芯腐れの原因を解明し、栽培困難な夏季の生産を振興
  - ・栽培農家数：13戸(前年比118%)、新規栽培者5人確保
- ②関西圏のパクチーフェアで4メニュー、都内企業の社員食堂で2メニューを提供、好評により次年度以降も使用したい意向

### 5 花き・花木

#### 【取組】

- ①県育成デルフィニウム品種「さくらひめ」の導入・普及を図るとともに、新たな需要が期待できる鉢物栽培を推進
- ②「ユーカリ・グニー」の産地拡大に向けて、水田転換ほ場での栽培技術の検討および挿し木・育苗講習会を実施

#### 【成果】

- ①栽培面積：25a (前年比96%)
  - ・鉢物生産量：8,100鉢 (前年比92%)
- ②ユーカリ・グニー栽培面積：13.81ha (前年比102%)



「なす」新規就農者講習会



「だんだんの会」現地研修



パクチー周年生産技術実証ほ



ユーカリほ場の排水性改善

## ～地域づくり～

農業・農村を支える多様な担い手を確保・育成するため、新規就農者が早期に安定した経営が営めるよう、関係機関が連携して研修制度や受入体制の充実・強化に取り組みます。また、女性の農業経営への参画を促進し、起業活動等を支援するとともに、ネットワークの構築により連携を深め、優れた女性経営者を育成します。さらに、農福連携による新たな労働力確保に向けた取組や集落ぐるみで取り組む鳥獣被害対策、地域活性化など、地域を取り巻く課題に対応した支援を展開します。

## ～推進対象や地域づくりの方向～

### ○地域の農業・農村を支える多様な担い手の確保・育成

#### 【取組】

- ①常時、就農希望者に対する就農相談を実施(61件)するほか、新規就農者には、関係機関と連携して栽培技術等の情報提供や青年等就農計画・資金計画等の策定を支援するとともに、就農後のフォローアップにより、定着促進と経営改善計画策定を支援。
- ②女性農業者の活躍を促進するため、若手で組織する農業女子会の活動を創設(研修会18回)し、農業経営者としての実践的技術や知識の向上を図るとともに、交流の場を創出。

#### 【成果】

- ①・新規就農者数：15人(前年：17人)
  - ・青年等就農計画の認定：16人(前年：14人)
  - ・新規就農者育成総合対策(令和4年度開始)計：32人(前年：27人)
  - ・経営開始資金・経営発展支援事業：16人、就農準備資金：16人
  - ・経営開始型受給修了者の経営改善計画認定：10人(前年：9人)
- ②2グループが組織化し、栽培管理や商品開発の取組を開始



新規就農者への技術経営指導



女子会の摘果講習会

### ○農業の働き方改革の推進

#### 1 アルバイター等の確保

##### 【取組】

- ・管内のアルバイト派遣において、主にJAえひめ中央が窓口となった受入体制の整備を支援し、労働力確保に取り組む

##### 【成果】

- ・窓口登録者数：170人
- ・アルバイト派遣人数：427人

#### 2 農福連携の推進

##### 【取組】

- ・労働力が不足している農業者と農業生産活動に関心のある就労継続支援施設をマッチングするとともに、JAを窓口とした農作業受委託システムの運用を推進

##### 【成果】

- ・マッチング数：5事例
- ・システムに登録した施設数：13戸(前年4戸)

#### 3 家族経営協定の推進

##### 【取組】

- ・農業経営に携わる家族が意欲とやりがいをもって経営に参画できるよう家族経営協定の締結を推進

##### 【成果】

- ・新規協定締結数：5件



農作業体験マッチング会  
(コリ畑の除草作業)



農作業体験マッチング会  
(大葉の出荷調整作業)

## ○住民の連携促進による地域活性化

### 1 鳥獣害対策

#### 【取組】

- ①鳥獣害対策として農家による捕獲を推進するため、イノシシや二ホンジカなど被害の多い獣種の捕獲資・器材を整備し、講習会(3回)等を通じて捕獲技術の向上を企図

#### 【成果】

- ①農家の捕獲技術が向上

### 2 6次産業化、地産地消の推進

#### 【取組】

- ①愛媛6次産業化サポートセンターと連携し、農産物を活用した新たな商品開発や販路拡大を支援
- ②都市と農村の交流人口拡大を図るため、地域資源を活用した取組を推進
- ③農家女性組織による地域農産物を活用した食育の推進を支援するため、食文化普及講座を開催(5回)

#### 【成果】

- ①「6次産業化チャレンジ総合支援事業」採択件数：4件
- ②農林漁家民宿開業：1件（総認定：3件）
- ③延べ94人の児童及び保護者が参加し、「庄大根」や「りんまん」など調理・試食することで郷土の食文化の理解が深化



鳥獣害対策講習会用資器材



地域農産物を使った食文化普及講座での実習

## ～農地再編整備によるブランド産地力拡大と担い手への集積・集約の加速化～

## ○樹園地の再編整備の推進

#### 【取組】

- ①農地中間管理機構関連農地整備事業等を活用した樹園地の再編整備を実施。
- ②基幹水利施設（畑地かんがい施設）の更新整備を実施。

#### 【成果】

- ① 実施地区数：3地区（松山市下難波地区、浅海原地区、由良地区）
- ②・畑地帯総合整備事業等による樹園地再編整備の実施・計画作成地区数：3地区（松山市堀江地区、中島地区、泊地区）  
・基幹水利施設（畑地かんがい施設）の更新整備計画作成地区数：1地区（松山市石手川北部地区）



下難波地区の樹園地再編整備状況



泊地区の樹園地再編整備イメージ

## ○水田の再編整備と基幹水利施設やため池の改修整備の推進

#### 【取組】

- ①農地中間管理機構関連農地整備事業を活用した水田の再編整備を実施。
- ②基幹水利施設の整備、改修や農業用ため池の老朽化対策、耐震対策を実施。

#### 【成果】

- ①整備実施地区数：1地区（東温市南吉井地区）
- ②・基幹水利施設の整備地区数：1地区（東温市佐古地区）  
・基幹水利施設の改修地区数：1地区（東温市佐古西地区）  
・農業用ため池の老朽化対策・耐震対策実施地区数：15地区（松山市本谷地区 他14地区）



正尺池（河野地区）の改修状況